

自・公・維・国 合意

医療費 4 兆円削減が意味するもの

自民・公明・維新と国民の4党は今年3月に「国民医療費を4兆円削減する」ことで合意しました。削減の主な内容は、全国で病院のベッド数を11万床減らす、OTC類似薬を保険から外す、などです。これらがどんなに重大な問題であるかは、いろいろな方が述べられていますので、是非ともそうした情報をお読みになってください。私は、4党合意の根底にある構図を考えてみたいと思います。

4党の主張は、「保険料が下げられる」というものです。今、社会保険料が高くて困っている方がたくさんおられます。そういう方々の要求を取り込んだ形です。しかし、これは間違った選択です。「医療費を削減すれば社会保険料を下げられる」は、一つの方法です。しかし、なぜ社会保険料が高くなったのか、その原因には目を向けていません。今、一番社会保険料が高いのは国民健康保険です。なぜ国保保険料が高いのか。主な原因は二つです。一つは国庫負担が削られてきたことです。国の負担を減らして保険料に転嫁する、そうしておいて保険料が高いからといって、医療費を削れというのは本末転倒の選択です。もう一つは高齢者医療制度のために、社保からも国保からも支援金を支出させる仕組みにしたことです。これも国が国庫負担から支出すべきものを、保険者にツケを回しているものです。

医療費が増えてきたことは事実ですが、人口の高齢化が進めば有病率が高くなるのですから、当たり前のことです。「医療費が増えても国の負担は増やさない」そのために、厚労省の官僚が考えたことが、負担増を医療保険者の負担に転嫁することなのです。

「保険料が安くなる」は、どこまで本当でしょうか。

医療保険財政には、主に四つの収入があります。①国と地方自治体の公費負担(税金)、②被保険者保険料、③事業主保険料、④患者自己負担、の四つです。

発表されている2022年度の国民医療費を構成比でみると、国・地方の公費が38%、被保険者保険料が28%、事業主保険料が22%、患者負担が12%です。つまり医療費総額を100万円とすると、税金から38万円が支出され、事業主が22万円を負担しています。私たち国民は、保険料で28万円、自己負担で12万円、合わせて40万円を支払っています。合計100万円の給付は、全て国民が受けとっています。つまり、私たちは40万円を支払うことで、100万円の医療サービスを得ているわけです。自公維国の合意は、この医療サービスの1割、10万円を失い、代わりに保険料が3万円下げられるということです。これは差し引き7万円の負担増です。自公維国は、これはムダな医療費だといいます。11万床をムダ、OTC類似薬をムダと呼ぶ彼らは、患者に命と健康の犠牲を強いるものではないでしょうか。

(狩場台 角屋 洋光)



◆8月のつどい 8月17日(日)

「学術会議問題」を考える

講師 本間健二さん 大西慶雄さん

西区文化センター2階第1会議室 14:00~16

参加費 300円

※詳しくはチラシをご覧ください

◆9月のつどい 9月14日(日)

「若者たちの情報提供は憲法違反！自衛隊
神戸住民訴訟が問いかけるもの」

講師 松山秀樹弁護士

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00

参加費 300円

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を！

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条壊すな！」のアピール行動を続けています

★次回は2025年9月1日(月)16:00~17:00

第9回九条の会全国交流集会(オンライン)開催

6月28日、九条の会全国交流集会がオンラインで開催された。参加したのは、各都道府県から計75団体、発表は20団体、4名の世話人から九条を取り巻く情勢の報告があった。

西神9条の会は玉津、学園、伊川谷の九条の会と共同参加した。当会からは今年5月開催の被爆ピアノコンサートと非核「神戸方式」の現状を発表した。

概要は次の通り。

ヒロシマ／新日鉄・呉の跡地に自衛隊基地計画

6月天皇皇后の広島訪問に小学生を動員
広島が再び軍都の危機

京都／オーバーツーリズム・国際観光都市・市民生活圧迫
足立／九条を多言語に翻訳、韓国新聞社から取材

九条の碑・地球儀を建立

伊藤千尋さん／九条の碑が85年の沖縄那覇市に始まり、全国36箇所。現在も計画拡大。

茨城・百里自衛隊基地の一画にも設置。

清水雅彦さん／全国で労組・市民団体・野党の共闘を進めることが壊憲を止める。

高田事務局長／改憲勢力が2/3を下回る中、明文改憲から実質改憲が更に進行している。世界で戦争が続発する時代に九条の平和のメッセージを世界に伝える重要性を強調した。

(感想)全国対象のため発表団体数に限度はあるが、基地を抱える県や沖縄などの発言も必要。

地域ブロック単位の開催も今後検討すべきと感じた。

(文責)春日台・大西

ジョー句

お題「水平線」

見てみたい 水平線の 向こう側 (空耳)

自由題

さようなら かなたにいても わすれない (Heidi)
記帳簿に 文字が震えて 80年 (骨歩)

9月のお題は「気配」(けはい)

y-onishi@live.jp

に投稿お待ちしております。



参議院選挙が終わって

7月20日投票の参議院選挙が終わって1週間がたちました。選挙前の予想通り自公は50議席がとれず、衆議院同様過半数に達しませんでした。投票率は増え、結果、参政党と国民民主党が増加しました。結果ご承知の如く石破首相退陣論が未だに続いています。退陣せよとの声は当然で、衆参2院での選挙で国民の判断は過半数を自公に取らせなかったことに表れています。参院選前、私は自公が過半数を割った場合の野党政権を想像し、憲法を大切にしていける政府を期待していた。ところが、過半数は割ったものの自公を補完する政党が伸びたため、私の期待は壊れてしまいました。

特に参政党の役割は選挙後も話題になっているように極めて危険な様相が見えてきました。みなさん、同党の憲法草案をご覧ください。みなさん、同党の憲法草案をご覧ください。現憲法の9条に反して、同党草案20条には自衛軍を保持すると明記している。明らかに9条を否定するものであり、現憲法と大きく異なっている。ぜひ、読んでみてください。(また、新聞労連の定期大会において、参政党の神奈川新聞の記者への記者会見排除に抗議する声明も出ています)

あまり論じられていませんが、一人区においての野党統一候補が自民党候補者に勝利していることも過半数割れに大きく貢献しています。(17選挙区中12で勝利)。特に沖縄選挙区において「オール沖縄」の候補者が勝利したことは私たちを勇気づけてくれました。さらに、被爆80年、分裂していた原水協と原水禁が日本被団協と共に「原爆投下を二度と繰り返さないための行動を国民に呼びかけた」ことは被爆や平和への運動を分裂から統一へと、市民運動への励ましとして大きな反響を生んでいます。私たち9条の会はこの運動に勇気づけられて、多くの市民との対話をいっそう広め、とりわけ、参政党に直感的に投票した市民との対話を広げ、日本国憲法そして9条を大切に国民の平和で安全な国を目指して日本被団協のように、あきらめないで地道に市民との対話をさらに大きく広げていきたいと考えています。(竹の台 たけし)



2025年8月 発行：西神ニュータウン9条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕TEL 090-3359-0776(大西)



HPヘリンク